



コロナ禍を 乗り越えて



冠山会会長
小林 勢治

昨年一月から始まった新型コロナウイルスの感染は、想像を絶するスピードで世界中に拡大しパンデミックを引き起こしました。我が国でも三波に及ぶ感染の急拡大が発生し、一年以上を経た今もお収束の兆しがみられず社会的不安が広がるばかりです。

そのような中で冠山会員の皆様の間には感染や発症による生命の危機に直面された方々や、社会的制約のなかで仕事や生活に種々のダメージを被られた方々がおられるのではないのでしょうか。紙面をお借りいたしました心よりお見舞い申し上げます。また、コロナ禍の影響は母校の後輩たちにも少なからず及んでいて、特に今春卒業した三年生諸君は、スポーツ大会や文化発表会が軒並み中止されて三年間の努力の成果を発揮する機会を失い、さらに大学受験を目指す真つ只中であって学校での授業が受けられないという状況に置かれるなど、想像することすらできないほどの厳しくて不安な一年間を過ごしました。

そんな三年生の卒業式が去る三月一日に挙行されましたが、そのなかで卒業生答辞に立った代表生徒が一年間の苦しい思いを噛み締めながら、次のような趣旨の内容を語ってくれたのです。

「コロナ禍の下で不安と焦燥に負けそうなの日々が続きましたが、仲間と協力しながら目の前の課題を一つひとつ乗り越えていく度に、仲間の大切さと困難に立ち向かう勇気を学びました」

参列した皆様が答辞の内容とともに代表生徒の凛とした口調に大いに感激したのは言うまでもありません。

第41号

発行所
奈良県立郡山高等学校
冠山会
発行責任者
日高 容子
編集責任者
冠山会事務局
発行部数 32,000部

そして人々の心を揺さぶることが出来る郡高生の言葉は、母校の教育が「誠実・剛毅・雄大」の校訓のもとで高いクオリティを保ちながら行われている証であると確信させてくれました。

さて、本年度の冠山会総会は、昨年度の会報でもお知らせいたしましたとおり会場をホテル日航奈良に移して、卒業後五十年の佳節を迎える昭和四十七年卒業の学年同窓会とタイアップするスタイルで開催しようとする準備を進めてまいりました。

しかし、残念ながらコロナウイルスの感染は依然として拡大傾向にあり予断を許さない状況が続いていることから、三月二十日に開催した役員会において昨年度に引き続き中止することを決定いたしました。

初めての試みとなる総会の開催をめざしてご苦労いただいたきた昭和四十七年卒業の学年幹事の皆様には申し訳ない思いでいっぱいであり、これまでのご尽力に対して深甚なる感謝の意を表する次第です。

また来年度の総会に冠山会との共同開催をお願いする昭和四十八年卒業の皆様には、今後

とも総会開催へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ところで、令和二年度の冠山会諸事業はコロナ禍のなかで大幅に自粛・縮小しなければならなくなりました。また、それぞれに開催いただいている学年同窓会やクラス会、さらに部活動のOB会や同好の活動なども「開催自粛・活動中止」の連絡を数多くいただきました。

今はただ、ワクチンが全ての国民に普及し早期にコロナウイルスの感染が収束することを願うばかりですが、例えばコロナが収束しても一度中止や縮小した人々の集まりや活動を再び元の姿に戻すためには大きなエネルギーが求められます。

会員の皆様のなかには、ラインやフェイスブックなどSNSを活用して同窓のネットワーク作りを進めておられる方が増えてつとあると伺っております。これからの同窓会活動では誠実な幹事の大きなエネルギーに期待するだけでなく、情報の交換や共有などを可能にするネットワークの中で同窓生一人ひとりの小さなエネルギーを結集することが大切な取組になる可能性があります。

コロナ禍の閉塞感のなかで同窓の繋がりが希薄になるのではなく、コロナ禍だからこそ気心の分かり合える同窓の輪を更に広げていただきたいと願わずにはいられません。

令和4年度の冠山会総会は HOTEL THE KASHIHARAで開催します

(旧ダイワロイヤルホテル橿原)

冠山会総会の運営は卒業後50年を迎える皆さんの学年同窓会とタイアップして行います。

令和4年度は昭和48年卒業の皆様とともに下記の日程で開催する予定です。

令和4年5月15日(日曜日)

午前10時00分～ 受付
11時00分～ 総会行事
13時00分～ 懇親会



今年の雑感



校長 土居 正明

三月末、近鉄の踏切を渡りお城を見上げながら郡高正門へ続く坂の入り口に、昨年は中止のため設置されなかった「お城まつり」の大きなゲートがお目見えした。昨年に引き続き、露店などの賑わいはないが、それでも春の到来はウキウキするものがある。特に、感染予防のための抑制的な空気は、冬から春に入れ替わるだけでも少し気分が晴れそうだ。しかし、気が急いたのか、お城の桜は例年より約一週間ほど早く満開を迎え、残念ながら入学式まで保たなかった。今年も長い行列ができた記念撮影の入学式の看板に垂れかかる桜は、すでに若葉となっていた。

(三月二十四日から八月二十二日まで)の長期間、お城まつりとして様々なイベントが企画されている。詳細は大和郡山市観光協会公式ウェブサイトへ)

世界の最先端を誇る日本の医療をもつてしても、コロナ禍は未だ完全終息の見込みが立たない。とはいえ、学校も市民感覚で少しずつ対応の方法は身につけ

つつあり、緊張感を途切れさせぬよう、日々意識を新たにしている。また、ワクチンの接種が始まっている。ワクチンは世界中の人々がコロナウイルスへの最後の砦、ゲームチェンジャーと期待する。期待をもつてその効果を待ちたい。

そんな中、昨年延期となった2020東京オリンピックの準備が進んでいる。開催には様々な困難が予想され、未だ賛否両方の意見が世の中を騒がせているが、開催を前提に、多くのアスリートが夢を描き、すでに開催気運を盛り上げるイベントも始まっている。

奈良県内でも聖火リレーが始まり、四月十二日に大和郡山市バスパークで、本校吹奏楽部の演奏の中、セレモニーが行われた。その聖火ランナーの中に、ランナー最高齢の百九歳、賀川滋子さんの姿があった。ニュースでも大きく取り上げられていたが、その最中、冠山会員の荒木紀子先生からお電話をいただいた。「今走っていらっしやる賀川さんは、冠山会員よ。両手を振って笑顔を振りまいて

いらっしやる。涙が出るー。」

驚いて会員名簿をめくると、確かに昭和四年三月郡山高専女学校第十六回卒業のところにお名前を見つけた。改めて見ると第十四回にお一人、第十五回にお一人、第十六回に五名のお名前が確認できた。ここまですべてが明治生まれの学年である。インタビューにしっかりと答えられる一つ一つのお言葉は他者への配慮に満ち、その満面の笑顔はすべての人に勇気と元氣と安らぎを与えたに違いない。そう思い、心から感謝の気持ちが沸き起こった。

また、オリンピック出場をかけた様々な競技が行われているが、中でも水泳の池江璃花子選手の言葉には感動した。御承知の通り、二〇一九年二月に白血病を公表し、闘病の様子も報道されている。骨が見えるほど痩せていて、これがアスリートの姿かと驚いた。それが白血病を克服し、一年七ヶ月で競技に復帰、約二年でオリンピック出場を勝ち取り、世界中のアスリートや医療関係者を驚かせ

た。「苦しくてしんどくて、でも努力は必ず報われるんだ。」闘病はまさに自分との闘いであり、その闘いに打ち勝ったぞ、という勝利宣言に、私には聞こえた。今年度一学期の始業式に生徒達に話したが、少しでも活力になったであろうか。

昨年度は、パンデミックという言葉に混乱し、できなかったことがあまりにも多かったという思いがある。今年は、私の郡高三年目の年であり、教員生活の集大成の年になる。その時代々々に必要な知識を得、知恵を絞り、長い伝統の上に新しい取組を重ねていく、それが時代に有為な人材作りをするという郡高の伝統を絶やさないと信じている。

結びになりますが、固い結束と熱い母校愛で学校を支えていただいている冠山会の皆様には、心より御礼申し上げますとともに、今後とも御支援賜りますようお願い申し上げます。



松 籟



先日、桜についてのエピソードを連載しているという新聞記者から、桜花グラウンドの桜について取材をしたいと電話が入った。幼い頃から父に連れられて桜花グラウンドを訪れていた私は、毎年当たり前のように咲いていた桜がいつ頃から植えられているのかや桜花グラウンドの名の由来などは考えたこともなかった。いつから桜花グラウンドと呼ばれるようになったのだろう、そもそも桜花グラウンドはいつから存在し、野球部や陸上競技部の活動場所として使われるようになったのだろう。

新聞記者の取材の対応のこともあるので、桜花グラウンドについて本校の百年史を調べてみることにした。郡山高校百周年時に編纂された百年史を聞いてみると、競走部（陸上競技部）についての記述の中に、『…大正十二年の郡制廃止によって郡山農学校が県に移管

され、永慶寺前の校舎が取り払われることになった。さっそくこの空き地を借り入れた後、部長と部員が連日のようにスコップを使い、トロッコを押して汗みどろになって整地に取り組んだ。半年後、ようやく一周二〇〇メートルのトラックができあがり、周囲に桜の樹を植え「桜花グラウンド」と名付けられた。』とある。

現在は、どこの高校でも学校行事がびっしりと組み込まれていて、それらの行事に加えて何か新たな行事をするすき間はほとんどない。郡山高校も例に漏れず、日々慌ただしく活動している。通常の学校活動に加え、桜花グラウンドを教員と生徒自らの手でつくっていくということなど到底できそうにない。当時の教員、生徒諸君はそれをやってのけたのだから、敬服する次第である。

さて、その桜花グラウンドで先

日、野球のバックネットとダッグ

アウトの改修工事が完了し、四月十日にこけら落としが行われた。

私は幸いにもその式典に参加し、

バックネット前のホームベース付近に整列させていただくことができた。前述したように、野球部の

活動を見物するために桜花グラウンドにはよく来ていたのだが、今

までバックネットの内野側に入ることががなく、今回初めて野球の

グラウンドに立つことができたのである。グラウンドに立つてふと

よぎったのは、父のことであった。

自分が通った小学校の通学路を歩くなど、かつて過ごした場所に

やってくると、そこで過ごしたときの光景が鮮明に脳裏にのみがえ

ることがある。私は個人的にこのことを「時空越え」と呼んでいて、

過去を振り返るひとときとして大切にしている。これまで幾度か経験してきた「時空越え」であるが、

それを桜花グラウンドで体験した。立ったことがない場所で「時

空越え」を体験したのは、私にとっ

かと思う。

私の父は昭和三十年度からの三年間、郡高生で野球部に所属して

いた。ポジションは捕手、ちょうど私が立ったところで青春の多く

を過ごしていたのである。私にとって初めての場所で、父が部活

動していたときのようにすが私の脳裏をよぎり、何とも心地よい感動

をおぼえることができた。

郡高の卒業生はもちろんのこと、卒業生ではなくても、郡山周

辺にゆかりのある方ならば、郡高のどこかで私のような「時空越え」

を体験されるに違いない。今はコロナ禍で校内への立ち入りが制限

されているが、郡高周辺を歩くだけでも、懐かしい思い出がよみが

えってくるのではないだろうか。実は私の母も郡高卒業生である。

母の思い出の場所は知らないが、母が生きているうちにその場所を

聞き出し、今度は母ゆかりの場所で「時空越え」を体験したいと思っている。

卒業50周年の招待をうけて

日高 容子（昭和46年卒）

140人もの同級生を集めながら、前日になって新型コロナウィルスの感染拡大のおおりの受け、やむなく招待を断られ、待望の卒業50周年の卒業式に参列できなかった、昨年の一級上の先輩方のことを思うと、まず申し訳ない気持ちになりました。

そして、今年の46年卒の私たちはというと、決して収束したわけでもなく、出されていた緊急事態宣言が前日の2月28日によりやく解除になったばかりの状況でありましたが、土居校長先生の決断によって、幸いにも招待して頂くことができました。本当にうれしくもあり、ありがたく思いました。

式場の講堂にはソーシャルディスタンスを保った形での卒業生と、保護者も一人だけで、もちろん、来賓も在校生の姿もなく、吹奏楽の演奏もなく、校歌斉唱すらテープを流しただけという、さびしくひっそりとした卒業式となりました。

「コロナやから、やめとこうか

なって思っていたけど、思い切つて来てよかったわあ。」という人や、

「近くにはいつも散歩に来ていて、よく通っているけど、こうして学校に入ってくるのは本当に久しぶりやわあ。」

と、感がい深めにきちんと和服で来てくれた友だちもいました。

南門を入り、小グラウンドを右に見て坂道を登ると、卒業生や保護者とはちあわせをしないように冠山会館の南側から入ります。いつもは食堂として使われている所の北面にも大きなモニタテレビが設置されています。その方向に向かってすわるように、長テーブルが並べられ、今日の式次第がかわいいコサージュと一緒に少し間をあけた状態で準備されていました。

なつかしい顔にほっとしたり、あれ、この人誰やったかなあと、けげんそうな顔をしつつも一生けん命思い出そうとしている人もいます。

式が終わったら正面玄関で合同

写真を撮ります。後で見ても顔と名前が一致するように決められた所で撮ってもらいます。

「あつ、その2段目の端から3人目の人、前の人と人の間に立って下さいよ。顔が見えにくいですよ。」と写真屋さんと言われながら、土居校長先生、冠山会の小林会長も入つての写真に少し緊張しながら「笑って笑って！」の声に、少しひきつるような笑顔にも見えるなあと、後日送ってもらった写真を見て、そう思いました。

その後食堂に戻り、寄付贈呈の式典です。学校長と冠山会長に少しはありますが、心のこもった寄付を渡します。当日来れないからと、前もってお金を渡しに来てくれた人もいます。「コロナやからな、仕事上大勢の人の集まる所へは行かれへんからね。」と、残念そうに言いながらも、今回は見送られた同窓会の次の開催を楽しみにしていただくことでしよう。次回は古希、70才を記念して再来年の秋ぐらいいにと、

クラス幹事での話し合いでは決めています。

当日、思いがけず体調をくずした人もいます。全員で42人でしたが、来られなかった人の思いも充分に感じられた会となりました。

「今日は、コロナもあるから、集まって長時間すごさんといてや」と植松君に言われながら、後ろ髪をひかれる思いで、三々五々次会の出会いを楽しみにして帰路につくのでした。同窓会はできなかったけど、久しぶりに見た同級生に50年前の自分に帰ることができたことは、何よりも幸せなことでした。

コロナの収束を願いながら、招待して頂いたこと、お世話頂いたそれぞれの方々に心から感謝の気持ちを伝えし、報告と致します。本当にありがとうございます。

きつときつと、笑顔で会える日が一日も早く来ますように…!!



昭和47年卒業の皆さんへ

学年幹事代表 井上 成功

令和3年度は、私たちが昭和47年に郡山高校を卒業してから50年目に当たります。

数年前からこのことについて幹事の間で相談してきましたが、当初から私たちの学年には卒業後50年を迎える学年として2つの課題がありました。

一つは卒業後50年を迎える学年として冠山会総会にタイアップして学年同窓会を開催して欲しいという要請があったこと、あと一つは卒業式に招待されることへの学年としての準備でした。

幹事協議の結果、新しいスタイルで初めて開催される総会に協力するという方向で、本年5月の総会開催時に学年同窓会を開催すべく準備を進めてきました。

しかし、コロナウイルス感染拡大のなかで総会が中止となり、不本意ながら学年同窓会も当初の計画から卒業式に招待される来年3月1日に開催することに変更しました。

今後は学年幹事とクラス幹事が協力して学年同窓会の開催準備を進め、コロナの動向を注視しながら改めてご案内を差し上げます。

来年3月には多くの皆様と元気に再会できることを願っておりますので、くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。

なお、私たち47年卒の学年は、残念ながら新しいスタイルの冠山会総会に協力することは叶いませんでしたが、48年卒の皆様から後に続く学年がそれぞれに冠山会と連携して総会を盛り上げていただくことを心からご期待申し上げます。



お知らせ!

昭和47年3月卒業生の皆さんへ

昭和47年卒業の方は、卒業50周年に当たります。

来年の卒業式(令和4年3月1日)に招待されます。

おめでとうございます

令和2年褒章受章者

春の褒章・叙勲

黄綬褒章

今西 康彰

昭和50年卒
郡山共同園芸社長

瑞宝小綬章

川端 政義

昭和25年卒
元公立高校長

瑞宝双光章

山村 茂

昭和40年卒
元公立中学校長

旭日单光章

松浦 靖彦

昭和37年卒
元県レクリエーション協会副会長

秋の褒章・叙勲

黄綬褒章

山中 功

昭和37年卒
文化財庭園保存技術者

瑞宝中綬章

森田 健治

昭和33年卒
名古屋大学名誉教授

瑞宝双光章

赤井 繁夫

元郡山高校長



叙勲受章祝賀会に

出席して

昭和37年卒

岸本和彦 川口和子



松浦靖彦君叙勲受章おめでと
うございます。この度、松浦君
は市民とともに「創り楽しむ」
レクリエーションを目標に奈良
県レクリエーション協会の専務
理事として長年にわたり「安全・
安心・健康」の地域社会の創造
に尽力された功績により旭日章

光章受章の栄に浴されました。
彼の活動を称え今後のご活躍と
ご健勝を祈念すべく祝賀会を令
和二年十二月七日にやまと郡山
城ホールで松浦靖彦ご夫妻をは
じめご来賓に地元選出の衆議院

議員、市長、市議会議員、各種
団体代表及び関係者五十余名の
出席のもと開催されました。祝
賀会は同級生の堀川道子さんの
「三味線」の演奏で皆様をお迎
えし開宴の運びとなりました。

発起人の大和郡山市レクリエー
ション協会々々長河内治夫様のご
挨拶に始まりご来賓の皆様方よ
りご祝辞をいただきました。

続いて奈良県レクリエーショ
ン協会々々長安井宏一様、冠山会
幹事長日高容子様より、青少年
健全育成の指導、スポーツ普及
の推進、保護司の受嘱、冠山会
幹事及び大和郡山市レクリエー
ション協会の立ち上げに率先垂
範された、労苦にねぎらいの言
葉がありました。その後、松浦

靖彦君から出席者にお礼の挨拶
を述べられ、冠山会々員で中学
校の恩師井上三夫先生の乾杯の
音頭で祝宴が始まり、歓談・余
興等々で盛り上がり盛大の内に
閉会の運びとなりました。新型

コロナウイルス禍で社会活動が
自粛の中ではありましたが感染
防止にご協力をいただき祝賀会
が簡素ながらも華やかに催され

ましたことをともに喜んでいま
す。最後になりましたがこれか
ら冠山会、同窓生の要として
のご活躍を祈念しご報告と致し
ます。

(司会/進行担当)

感謝!

昭和25年卒 川端 政義

人の力を知らないうちに借り
て歩んでいるのが世の習いで
す。私の人生で叙勲を知ったこ
とは最良の日だった。

ただ無我夢中で毎日に対処し
たのは、この叙勲がそうであつ
たのか」と頷けた。振り返り私
は日々を淡々と歩んだ結果であ
ると感謝しています。

「歩んだ途を振り返りながら
ただ前進のみと多くの人々に支
えられてよくぞ生きたな!!」と
言える心境です。

今はゆとりをもつて長く険し
かった未知を回顧しながら与え
られた未知を歩みたい。私の人
生は予想できなかったことが多
かったし、これからも分からな
い。しっかりと多くの人々に支
えられながら今を一生懸命に歩
んでいきます。
ありがとうございます

茶道講師として

「学び」は何歳からでも

昭和33年卒 荒木 紀子

昭和63年に母校に赴任して茶
道部顧問になりました。その時
の茶道講師は冠山会の年次幹事
(郡女卒)もしておられた故西
浦宗春(春子)先生でした。翌
64年1月に元号が平成になり
「平成」を記念して何かを新し
く始めたいと考え「茶道」をも
う一度勉強しようとして西浦先生の
門を敲きました。49歳でした。

娘時代にしていたまま長いブラ
ンクがありました。思い出し
ながら割合早く茶道の学びを深
められました。退職後もそのま
ま先生の手助けをして茶道部と
関わり続けていました。平成19
年に先生が引退されたあと私が
茶道講師を拝命いたしました。

20年の「お城まつり」に柳沢
文庫前でのお茶席をさせてもら
い以後は毎年3月末の土曜日に
郡高茶道部が担当させていただ
いています。郡高の校長先生が
市の教育長に転出されてご推挙
下さったのではないかと秘かに
有難く感謝しています。

冠山会総会でのお茶席は63年
頃は総会後の懇親会を郡山城追
手門一帯でしていたので市民会
館でのお茶席でした。平成5年

の百周年で新築された冠山会館
が懇親会場になってからは食堂
の南庭で、雨天は2階フロアー
でした時もありました。懇親会
を学校外でできるようになってか
らは、総会の前に講堂入口での
お茶席にしています。若い生徒
のお点前やお運びは冠山会総会
でも、お城まつりでも先輩や市
民から喜んでもらえて、生徒に
とっては大きな励みと自信を与
えてくれる発表の場でしたが、
今後総会が郡高の外で催される
と茶道部のお茶席はどうなるの
かと危惧しています。昨年80歳
をもって茶道講師も冠山会本部
役員も引退いたしました。省み
れば32年も茶道部に関われたこ
とは私にとつて大きな大切な宝
物です。生徒たちからも多くの
ことを学びました。また短歌を
始めたのも52歳の時、長女の結
婚式の感動からでしたが平成31
年に宮中歌会始に入選させてい
ただけました。

「学び」は何歳からでも遅く
はない。真面目に続けられればいつ
か実を結びます。若い時にいく
つかの「学びのひき出し」を持つ
ておくとは後年の人生を豊かにし
てくれることを実感していま
す。皆さま長い間ありがとうございました。

卒業生の今

●東浦 岳史(平成30年卒)

在校生の皆さん、初めまして。2017年度卒業生の東浦岳史と申します。

現在は、京都大学文学部人文学科4回生の学生で、大学では体育会フィールドホッケー部に所属しています。

郡高生の頃もホッケー部に所属していて、皆さんと同様に、文武両道をモットーに勉強と部活に励んでいました。

今回はこの冠山会だよりを通じて、僕の大学生活を紹介することで、皆さんに「大学生活」についてのイメージを膨らませていただければ、と思います。

まず、僕の通っている京都大学文学部について紹介します。

京都大学は大きく分けてキャンパスが3つ(吉田・宇治・桂)あり、工学部や農学部の一部の学科を除きほぼ全ての学部が吉田キャンパスに集中しています。そのため、部活動やサークル活動で他学部の人と接する機会が多く、まさに「総合大学」といった刺激の多い毎日を送ることができます。他の学問領域

の人々との日々の交流が、京大の「自由の学風」の礎になっているように感じます。

大学の勉強に関して、京大の文系学部では、「教養」に重きが置かれています。文学部の学生は、1〜2回生の間は専門性の高い授業を履修することができず、はじめの2年間は、幅広い学問に触れることで教養を深める期間と位置付けられています。自然科学や法学、経済学など様々な学問に触れる中で視野を広げ、自分のやりたい学問について多角的にじっくり考えることができます。しかし、西洋史の研究がしたくて京大に入った僕のように、やりたいことが決まっている人間にとつて、この期間は退屈です。そのような学生は、友人たちと勉強会を開いたり、専門的な本を読んだり、自主的に学ぶことで学問的欲求を満たしています。実際、僕も勉強会に参加したり、厳しい専門書を調達して読んでいたりしていました。

4回生になった現在は、西洋史学の研究漬けの日々を過ごしています。具体的には、卒業論文のテーマを設定し、それに関連する文献を読んでいます。はっきり言って地味です。さらに、日本語の文献なんてほとんど存在しないため、全て英語

(しじじきドイツ語)の本です。骨が折れます。その上、僕の研究する「近世ホヘミア史」の授業なんて、もちろん京大で開講されていないです。全て自学自習です。一見、辛そうに見えるかもしれませんが、自主的に学び、成長していく生活に僕はとても充実感を覚えています。

次に部活動での取り組みを紹介します。僕は現在ホッケー部に所属しています。高校までとは違い、大学のホッケー部の活動は週に4日しかないので、練習では主に戦術面の練習を効率よく行っています。また、大学の部活動には指導者がいないため、先輩が先輩に指導する形で練習を行っており、試合や練習などの予定も自分たちで決めています。特に京大は国立大学の中でも強豪に位置付けられる大学で、練習が厳しいことで有名です。

日々の部活動の中で学んだことは多いですが、特に1回生の時の経験が大きく印象に残っています。僕は高校時代にホッケー部で主将を務めており、入学時の僕はホッケーの技術に少なからず自信がありました。しかし、大学入学後の半年間はグラウンドの隅で未経験者の同期たちと一緒に、ひたすら基礎

的な反復練習ばかりさせられました。練習すら満足に参加させてもらえない状況で、ホッケーをやめようかと思ったこともありました。1回生はそんな不満だらけの日々でしたが、多くの大切なことを学んだ貴重な期間でした。自分に足りない点を考え、課題を設定し、自主練に取り組み、解消することで、技術的に上達することができました。また、未経験者の同期にアドバイスを行う中で、チームワークやリーダーシップについて考え、精神的にも成長することができました。この経験を通じて、部活動以外でも、自主的に考え行動する習慣が身につきました。

4回生になった現在はチーム運営からも退き、専らご意見番のようなポジションですが、先輩たちが部活動を通じて自主的にものごとを考えて成長できるような環境づくりを心がけて日々の活動に取り組んでいます。

最後に、京大は「自由の学風」とよく言われます。実際、学生生活は驚くほど自由です。「自由」の捉え方は人それぞれですが、各人に解釈や判断が委ねられていることが「自由」だと僕は思います。

皆さんも自分なりに「自由」について自由に考えてみてください。自分なりに「自由」について考えることで、「自分らしさ」にきつと出会えると思います。その「自分らしさ」を最大限発揮できるような進路を選ぶと、きつと楽しい学生生活を送れると思います。

ちなみに、僕は「自由」について考えた結果、「誠実」「剛毅」「雄大」という3つの単語に行きつきました。郡高の校訓は今でも自分のモットーになっています。以上、京大生の戯言でした。

最後まで読んでいただきありがとうございました。



京都大学フィールドホッケー部

母校の清掃ボランティア

(令和2年11月28日実施)

コロナ禍ではありましたが、屋外での作業ということもあり、感染防止対策を講じながら、今年も予定通り、冠山会員の皆さん並びに土居校長先生をはじめ諸先生方の参加のもとで母校清掃ボランティアを実施しました。

折しも、講堂前にあった体育教室が老朽化により取り壊され、新たに特別教室棟改築工事(写真1)の真っ最中ということもあり、今回は、郡高生が毎日登下校する裏門から冠山会館までの通路及び冠山会館の周囲の植栽の剪定、そして、プール際に立っていた役目を終え枯れ果ててしまっていた松の木の伐採をしていただきました。



最近、大和郡山市が郡山城跡の公園化事業を進められていて、天守台や散策道の整備等もすでにされています。本年3月には、郡山城本丸と柳沢文庫の間の内堀には、文献に残っている木橋・極楽橋が復元されました。(写真2)

このように郡山城跡が今後益々きれいに整備されていく中で、このお城の中にある母校の環境整備の必要を感じます。



した。気持ちのいい汗を流し作業を終え、冠山会館の食堂でソーシャルディスタンスを保ちながら、用意していただいたお弁当をいただきました。

このご時世ですので、会話もそこそこしながらではありましたが、それでも「来年は、どこをきれいにしようかな」という声もあり、母校を思う熱い気持ちを感じながら無事、今年も終わることができました。ありがとうございました。(昭和50年卒 竹本徹)

冠山会へのご協力お願い

“冠山会だより”の発行事業は会員(卒業生全員)の協力金¥2,000/年で運営されています。

“冠山会だより”は我々3万有余の卒業生をつなぐ唯一の糸であります。100才以上の方から新卒生まで、こんなにも広く同じ母校を巣立った友とつながっていると思えば、すばらしい事だとは思われませんか?こんなにも多くの同窓生に全員配布されているのは珍しいと聞きます。

是非とも、この“冠山会だより”の発行事業の存続のため、協力金の振込みを、よろしく願い申し上げます。なお資金集めのため“冠山会だより”に企業広告を掲載していただける方を募っていますのでよろしくお願いいたします。

〇〇株式会社

冠山 太郎 S〇年卒

1マス ¥5,000

約9cm × 約5cm

詳細は冠山会事務局まで御連絡下さい。

冠山会歴史愛好会散策実施の見合わせについて(ご連絡)

冠山会員・歴史愛好会員の皆様にはますますご健勝でつつがなくお過ごしのことと拝察いたします。

一年前頃より始まったコロナ感染症の影響がことのほか長引き、未だ収束の出口が見えず、いらだちと不安感が募るばかりの今日この頃です。

私事で恐縮ですが、この間、巣ごもり状態が続き、気が付けば、体重の増、体力の衰え、ひどくなる物忘れなどなど、急に老け込んだと家族から言われます。なんとかせねばとは思いますが、散歩など始めるのですが、いったん怠け癖の付いた我が身は、結局楽を求めてしまいます。

10年前、「親睦と学び」を趣旨に、25名前後で県内外の史跡の散策を「飛鳥の里」で謎の石造物や古代国家の始まりの跡を訪ねて以来、その場所は40カ所を超えました。紅葉を愛でながら「最澄と空海の出会いと別れ」の場所である神護寺。「念仏普及時における法然の弟子と宮廷女官松虫、鈴虫姉妹の悲劇の地」京都東山山麓の法然院。「動く襖絵や謎かけ襖絵の控えの間、燃えるような紅葉」に魅入った山科毘沙門堂。遠く二上山に「大津皇子とおおくのひめみこ 大^{おおくのひめみこ}伯皇女」の悲恋物語に思いを馳せた磐余池^{いわれ}廃寺跡。這いつくばるようにして古墳内部に入り、懐中電灯に照らし出された石^{せつかく}槨内側壁の見事な細工に感嘆した終末期古墳見学。椿井城跡から見渡すかつての古代平群一族の繁栄の跡を物語る古墳群。リンゴ狩と急な斜面に埋葬されている太安万侶の墓誌埋葬塚の田原の里などなど。思い出が尽きません。

現在のところ、コロナ感染症の収束が不透明なことから、歴史愛好会の散策実施をしばらく見合わせたいと思います。

今後コロナ感染症の心配がなくなり、散策が可能になれば、あらためて下記の場所から選んで、これまでの会員の皆様にご案内いたします。

- 郡山城と城下の史跡散策
- 今城塚古墳と富田寺内町（高槻）
- 石清水八幡宮と背割堤の桜（京都府八幡市）
- 五條（新町・天誅組・金剛寺）
- 伏見^{せきほうじ}稲荷と石峰寺（伊藤若冲下絵の五百羅漢の庭）

歴史愛好会案内担当

前冠山会副会長	元奈良県高等学校歴史教育研究会会長	吉田一男
元冠山会長	元奈良県高等学校歴史教育研究会会長	竹村 隆

(文責 竹村 隆)

文武両道

現在、「グローバル化」が急速に進み、世界全体が大きく変化しています。世界は多くの問題を抱え、日本にも大きな影響を与えており、海外と国内の境がなくなってきたといっても過言ではありません。日本の社会も変化せざるを得ない状況であり、近い将来、そのような社会へ進んでいく郡高生は、今から多くの知識や情報を獲得することが必要です。

教育においても、大学入試改革が進められ、2021年度大学入試で「大学入学共通テスト」が実施されました。特に英語においては従来より出題されていた文法や語法の問題は姿を無くし、かなりの量の情報を英語で読んで理解する「リーディング」と「リスニング」がそれぞれ100点満点とされるなどが大きな変更点です。入試改革の目的は、速いスピードで変化する世界に対応するために、**学力の3要素**、つまり「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につけることにあります。

こうした動きは総合型選抜と学校推薦型選抜になった従来からのいわゆる推薦入試にも大きく現れています。国公立大学でも後期日程の募集停止や募集人員が削減され、その分を総合型や学校推薦型に移行する流れが顕著です。また入試内容も高校での成績や活動内容、面接や小論文、学力検査に口頭試問や自己PRなど、個性や適性、意欲など総合的な人物評価が行われています。

このような入試に対応していくためには各科目の学習だけではなく、世の中の動きや情報を察知し、社会の変化に対応できる力を養い、自分自身の考えをしっかりとつことが必要です。日頃から読書・新聞等から知識を身につけ、グローバル化に備えることが求められます。

2020年度卒業生の進路状況

1 合格者数

(延人数でかつ、一人で複数方式で合格した場合、「合格者数」は1人としています)

	4年制大学			短期大学	準大学	専修学校 (各種学校)	就職	
	計	国立	公立					私立
令和3年3月卒業生	95	67	28	778	2	0	4	0
既 卒 生	27	13	14	161	0	0	0	0
合 計	122	80	42	939	2	0	4	0

2 進路状況 (1人1校)

	受験者数
令和3年3月卒業生	355
既 卒 生	74
合 計	429

	4年制大学				短期大学	準大学	専修学校 (各種学校)	就職	その他
	計	国立	公立	私立					
令和3年3月卒業生	92	65	27	136	2	0	1	0	124
既 卒 生	26	12	14	15	0	0	0	0	33
合 計	118	77	41	151	2	0	1	0	157

2021年度入試 合格者数一覧

国公立大学	合格者数	国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数	私立大学	合格者数	私立大学	合格者数
北海道	1	大阪市立	12	日本医療	1	京都精華	1	関西西	109
筑波	1	大阪府立	10	北海道医療	1	京都先端科学	1	関西医科	1
電気通信	1	神戸	13	北里	2	京都橘	6	関西外国語	3
東京工業	1	奈良教育	8	慶應義塾	2	京都ノートルダム女子	1	近畿	84
長岡造形	1	奈良県立医科	4	芝浦工業	1	京都文教	2	四天王寺	3
金沢	2	奈良女子	3	上智	1	京都薬科	2	摂南	4
信州	2	和歌山	3	東京農業	3	同志社	68	森ノ宮医療	4
静岡岡	1	島根	1	東京理科	4	同志社女子	27	大和	4
愛知教育	1	岡山山	1	東洋	1	佛教	3	関西学院	25
名古屋屋	1	岡山県立	1	日本体育	1	龍谷	63	甲南	3
名古屋市立	1	広島	2	日本本	1	立命館	66	神戸薬科	3
三重	2	山口	1	武蔵野美術	1	追手門学院	7	武庫川女子	15
滋賀	1	高知	1	早稲田	2	大阪医科薬科	2	畿央	11
京都	2	九州	1	中京	1	大阪大谷	1	帝塚山	6
京都教育	1	福岡女子	1	豊田工業	1	大阪経済	2	天理	4
京都工芸繊維	3	鹿屋体育	1	大谷	1	大阪芸術	2	天理医療	2
京都府立	1	国公立大学合計	107	京都芸術	2	大阪工業	15	奈良学園	3
大阪	11			京都産業	5	大阪産業	4	立命館アジア太平洋	1
大阪教育	10			京都女子	22	大阪電気通信	7	私立大学合計	618

令和2年度

クラブ活動の記録

令和2年4月から令和3年2月まで

*今年度は、全国高校総体や各コンクールが中止、全国高校総合文化祭がオンライン開催での実施となり、様々な大会が中止となりました。

【体育部】

◆陸上競技部◆

○奈良県選手権

〔女子〕 円盤投 2位

○第53回近畿高等学校コース陸上競技対校選手権大会県予選

〔共通男子〕 4×100m 3位

〔共通男子〕 4×400m 5位

〔共通女子〕 4×100m 3位

〔3年男子〕 走高跳 優勝

〔2年男子〕 棒高跳 3位

〔1年男子〕 200m 3位

〔2年女子〕 円盤投 3位

〔2年女子〕 走高跳 3位

○第53回近畿高等学校コース陸上競技対校選手権大会

〔2年の部〕 棒高跳 4位

○第71回男子奈良県高等学校駅伝競走大会

〔総合〕 4位

○第71回男子近畿高等学校駅伝競走大会

〔総合〕 36位

◆野球部◆

○令和2年度春季県大会 中止

○令和2年度夏季野球大会 中止

○第102回選手権奈良大会 中止

○令和2年度秋季県大会 2回戦進出

◆ソフトテニス部◆

○県高校新人大会

〔男子〕 団体 3位

〔女子〕 団体 5位

◆バスケットボール部◆

○新人大会

〔男子〕 2回戦進出

〔女子〕 ベスト16

◆バレーボール部◆

○令和2年度奈良県高等学校バレーボール新人大会

〔男子〕 ベスト8

〔女子〕 ベスト16

○第73回奈良県高等学校総合体育大会
バドミントン競技
〔女子〕 団体 第3位

○第67回近畿高校選手権大会

〔男子〕 シングルス 1名 出場

〔女子〕 ダブルス 1組 出場

○第49回全国高等学校選抜大会県予選兼69回奈良県高等学校バドミントン新人大会県高校新人大会

〔男子〕 団体 3位

〔女子〕 ダブルス 3位

○第71回奈良県高等学校新人大会

〔女子〕 ダブルス 第3位

◆ソフトボール部◆

○県高等学校女子ソフトボール選手権大会

〔男子〕 Bブロック第2位

○県高校総体

〔男子〕 Bブロック優勝

○新人大会・全国選抜県予選

〔男子〕 第3位

◆卓球部◆

○第35回近畿高等学校新人卓球大会

〔男子〕 シングルス出場

◆ハンドボール部◆

○県高校総体

〔男子〕 2回戦敗退

○選抜予選

〔男子〕 第2位(近畿大会出場獲得)

◆サッカー部◆

○NFA U-18リーグ

〔男子〕 1部リーグ 10位

◆ホッケー部◆

○奈良県高等学校ホッケー大会

〔男子〕 第2位

〔女子〕 第2位

○県高校総体兼選抜県予選

〔男子〕 第4位

〔女子〕 第2位

○令和2年度近畿高等学校選抜ホッケー大会

〔男子〕 出場

〔女子〕 出場

○県新人大会

〔女子〕 第2位

○令和2年度奈良県高等学校新人大会(兼学年別弓道大会(東部))

〔男子〕 1年団体 3位

〔男子〕 1年個人 3位

〔女子〕 1年団体 1位、2位

〔女子〕 2年団体 2位

〔男子〕 1年個人 1位、2位

〔女子〕 2年個人 1位

〔男子〕 3年個人 1位

○第74回奈良県高等学校選手権水泳競技大会兼近畿高等学校新人水泳競技大会奈良県予選

〔女子〕 50m自由形 4位

50m背泳ぎ 5位

100m背泳ぎ 8位

50m自由形 2、6、8位

100m自由形 7位

50m背泳ぎ 5、8位

50m平泳ぎ 8位

100m平泳ぎ 7位

50mバタフライ 1位

200m個人メドレー 1、2位

400mメドレー 2位

400mメドレー 2位

本年度は1位には文部科学大臣特別賞、2位にはスポーツ長官特別賞が授与された。

○第4回近畿高等学校新人水泳競技大会

前述のうち16名出場

〔男子〕 50m自由形 4位

〔女子〕 50m自由形 4位

〔男子〕 50m自由形 4位



◆剣道部◆

○県高校総体
[男子] 総合 2位

○県高校新人大会
[女子] 団体 3位
個人 3位

○全国・近畿高校選抜県予選
[男子] 団体 2位
[女子] 団体 7位

○近畿高校選抜大会
[男子] 団体 出場

○全国高校選抜大会
[男子] 団体 出場

◆山岳部◆

○近畿高校登山大会・奈良県(矢田丘陵)

○県総合体育大会・龍王山
[男子団体] 2位

○県新人登山大会・大天井カ岳
合宿山行
奈良県・八経ヶ岳、北アルプス・北穂高岳・奥穂高岳

○第48回奈良県アンサンブルコンテスト高等学校の部 金管八重奏 金賞(奈良県代表受賞)

○第47回関西アンサンブルコンテスト 金管八重奏 銅賞受賞

◆合唱部◆

毎週月・金、土曜日に音楽室にて活動しています。今年度は文化祭や卒業式でも演奏させて頂きました。

○第44回全国高等学校総合文化祭「WEB S O U B U N」(2020こうち総文)に奈良県選抜女声合唱団の一員として2年生5名が参加。

○第40回近畿高等学校総合文化祭奈良大会「WEB K I N K I N A R A 2020」に参加。

○大和郡山市主催秋風コンサートに出演(郡山城天守台展望施設) 11月22日(日)
○第14回奈良ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場 金賞受賞
(さざんかホール)12月20日(日)

◆放送局◆

○第35回奈良県高等学校総合文化祭放送部門
[アナウンス部門] 激励賞

○第37回奈良県高等学校放送コンテスト「アナウンス部門」 奨励賞

◆箏曲部◆

○8月 卒業演奏会『奏思奏愛』開催(校内)

○9月 文化祭で演奏(校内)

○11月 第40回近畿高等学校総合文化祭日本音楽部門Web出場

○12月 親子たんとん広場にて演奏(校内)

○3月 第60回大和郡山お城まつりにて演奏

◆華道部◆

流派「甲州流」毎週水曜日、校友会館において、お稽古を行っている。

○文化祭にて展示発表

○玄関・校長室・昇降口に展示
○昇降口には写真の掲示もしている

◆科学部天文班◆

○6月 日食観測、8月、9月、11月、又座流星群観測会、

○12月「郡山城にぎわいづくり事業」天体観測コーナーを担当

◆科学部化学班◆

昨年引き続き新入生の入部がなく、三年生部員一人になってしまいました。

しかし、様々な事柄に関心を持ち、自分が学んだことをわかりやすく伝える「科学者」の意気込みは忘れません。

今年の文化祭は様々な制限があり、できることも限られたものになりましたが、液体窒素を使って、低温で起こる珍しい現象をごらんいただきました。

◆科学部電気班◆

○WRO(ワールド・ロボット・オリンピック)に向けたロボット製作・プログラミング

○郡山高校e-オープンスクールの動画の制作

◆生物部◆

○鷺池水生プランクトン調査など各種実験観察を行った。

○グリーンヒドラの出身に関する実験、トゲチンヤに関する研究をSSHサイエンスフェスティバルにおいてオンライン発表、サイエンスなら研究発表会にて口頭発表、ポスター発表を行う。

◆写真部◆

○出品 文化祭にて出品

○撮影会 奈良国立博物館・奈良公園・ならまち周辺(8月13日)

◆文芸部◆

○部誌 春号・夏号・秋号、「若竹」八四号 発行

○文化祭で部誌の展示

◆ESC◆

○国際交流プログラムプレゼンテーション大会 World Youth Meeting 2020 金賞【オンライン】

○台湾高雄市教育局主催 Asian Student Exchange Program 2020 参加【オンライン】

○第6回高校生即興英語ディベート全国大会出場【オンライン】

◆新聞局◆

○校内新聞である「啓明新聞」第二十八号を発行した。

◆将棋同好会◆

○第35回奈良県高等学校総合文化祭将棋部門兼第29回全国高等学校文化連盟将棋新人大会奈良県予選 男子個人戦 ベスト8

◆茶道部◆

○文化祭において、茶会の演示を行い、茶道を紹介した。

◆軽音楽同好会◆

○放課後週4日、校友会館1階で練習を行っている。
○9月、本校文化祭にて演奏。
○3月、プラチナ食堂にて発表会を開催。

◆演劇部◆

○第45回 奈良県高等学校演劇発表会出演(11月)
○講堂にて自主公演を実施(1月)

◆美術部◆

○第35回奈良県高等学校総合文化祭 優秀賞2点
○第40回近畿高等学校総合文化祭 奈良大会 出品1点
○第28回奈良県高校生アートグランプリ 特別賞2点

◆書道部◆

○第47回奈良県ジュニア美術展覧会 教育長賞及び佳作
○第40回近畿高等学校総合文化祭 奈良大会書道部門へ出品
○第35回奈良県高等学校総合文化祭 書道部門 奨励賞

【文化部】

◆吹奏楽部◆

○It's my music 奈良県吹奏楽祭2020 高等学校フェスティバル部門 出場

○第40回近畿高等学校総合文化祭 出場

○イオンモール大和郡山10周年記念奈良県学生フェスティバル 出演

○秋風コンサート 出演

○校内アンサンブル発表会 開催

トピックス

ソフトボール部
県総体ソフトボール競技の部優勝

ソフトボール部は令和二年九月十二日に行われた、第七十三回奈良県高等学校総合体育大会に出場し、強豪校を破り優勝しました。

新型コロナウイルス感染症という見えない敵から始まった学校生活。在宅学習、分散登校が続く、なかなかチーム全員が揃わない日々。短時間での練習という環境の中でのスタートでした。さらには大会が次々となくなり、全国出場への目標としていたインターハイ予選も中止となりました。三年生にとっては最後の試合で、この試合を目標にこれまで取り組んできましたが、無念な結果となり三年生は引退しました。三年生の思いも背負いながら、新チームのスタートとなりました。

ソフトボール部は現在部員十二名で、選手が九名、マネージャーが三名で活動しています。選手は全員小学校、中学校からの経験者です。顧問はソフトボール専門でないため、技術面は生徒が主体となって教えあっています。日々の練習で意識していることは、個々の良いところをチームで共有し合う、声掛けを大切に

することです。全員が経験者であるため、今までやってきたことに違いはありませんが、その内容を共有し合うことでバラエティー豊かな考えや、練習内容が生まれると思えます。また、練習中に良かったプレーや、課題となるプレーなどをその場で声掛けすることで課題解決に近づき、お互いに刺激を与えチームワークが深まります。切磋琢磨という言葉がチームの代名詞だと思います。技術指導のできる顧問がいけない厳しい環境の中ではありますが、その分、自分たちらしさをさせるチームになると考えています。

そんな新チームで、三年生の思いを胸に、今こうして試合ができる環境に感謝しながら挑んだ奈良県高等学校総合体育大会でした。初戦から毎年インターハイに出場している強豪の奈良文化高等学校と対戦でした。強豪校とはいえ同じ高校生。挑戦する気持ちを大切に、今までの練習がどれだけ試せるかを考えながら挑みました。攻撃では、挑む気持ちがあつて、序盤から好調な打撃で得点を重ねることができ、守備でも、投手がバッ

クを信用してテンポよく投げること、相手を四死点に抑えることができました。序盤の七得点を最後まで守り抜き勝利することができました。強豪校を倒した勢いそのままに、決勝戦の高田商業との試合も投打がかみ合い、接戦を制し優勝することができました。自分たちらしさを大切に切磋琢磨してきた力を発揮して、結果を残せたことが、彼女たちにとっても大きな自信となった大会になりました。これから始まるインターハイ予選優勝を目標に、さらにチーム一丸となり高め合っていきます。ご声援のほどよろしくお願いたします。



令和3年度
人事異動

教員退職

氏名	職名	新所属	教科等	備考
1 阪口 浩子	教諭	郡山高校	国語	再任用教諭
2 木山 康史	教諭	郡山高校	理科	再任用教諭
3 福島 雅代	教諭			
4 大西 淳子	教諭			
5 福西 友子	教諭			

教員転出

氏名	職名	新所属	教科等	備考
1 嶋岡 浩三	教頭	平城	数学	教頭
2 枝 剛司	教諭	西和清陵	地歴	
3 佐藤恵里子	教諭	磯城野	数学	
4 菟原 郁恵	教諭	教育研究所	数学	指導主事
5 中島 良	教諭	高田商業	数学	
6 池永 克好	教諭	橿原	理科	教頭
7 浦野 和久	教諭	五條	理科	
8 高見 寛英	教諭	登美ヶ丘	英語	教頭
9 佐藤 由梨	教諭	法隆寺国際	英語	
10 小野 夏穂	臨時講師	榛生昇陽	国語	新採用
11 清水 薫	臨時講師	高田芸術	美術	新採用
12 小林 侑子	臨時講師	高取国際	英語	新採用
13 新谷 有紀	養護臨時講師	奈良北	養護	新採用

事務退職

氏名	職名	新所属	職名	備考
1 中川 良一	事務長	住まいまちづくり課		再任用
2 清原 淳	主任主査	奈良高等学校		再任用

育休から復帰

氏名	職名	期間	教科等	備考
1 井田 幸代	教諭	2021/6/14~	芸術(美)	

産休・育休

氏名	職名	期間	教科等	備考
1 吉本真奈美	教諭	2020/2/22~	数学	

教員転入

氏名	職名	旧所属	教科等	備考
1 津浦 和久	教頭	法隆寺国際	(地公)	教頭
2 井上 奈々	教諭	奈良情報商業	国語	
3 木村智永子	臨時講師	奈良北	国語	
4 泉 佳孝	教諭	平城	数学	
5 川口 億	教諭	高田商業	数学	(高田商業交流)
6 村上 雄一	教諭	奈良北	数学	
7 石本 昇	再任用教諭	榛生昇陽	理科	
8 川岸 奈央	教諭	大淀	理科	
9 山本 健弥	教諭	五條高校賀名生分校	理科	新採用
10 和田 舞	任期付講師	西の京	芸術(美)	
11 井上理映子	臨時講師	京都市立伏見南陽小学校	英語	増川の補充
12 増川かおり	教諭	平城	英語	産休・育休
13 佐園茉莉子	教諭	奈良	英語	新採用
14 藤野 佳帆	臨時講師	大阪教育大学	英語	
15 細川 善司	臨時講師	法隆寺国際	英語	
16 前田加奈子	教諭	登美ヶ丘	英語	
17 倉本 佳洋	教諭	奈良北	家庭	
18 福西小百合	養護教諭	大淀養護	養護	

事務転入

氏名	職名	旧所属	職名	備考
1 吉行 直美	事務長	奈良県地域産業振興センター		
2 山内麻紀子	主任主査	労働委員会事務局		

常勤講師継続

氏名	職名	教科等	備考
1 中山 千嘉	臨時講師	数学	吉本の補充

非常勤講師

氏名	教科	時間数	備考
1 芦田真奈美	家庭		
2 片山耕太郎	理科		
3 吉川 奈緒	保健体育		

令和3年度の冠山会総会は、新型コロナウイルス感染拡大による近隣府県の緊急事態宣言発令下において、本会として感染防止の責務を果たすとともに郡山高校に迷惑をかけないために開催を中止することにいたしました。総会案件の役員改選、事業報告・事業計画および決算案・予算案については4月24日(土)に開催しました役員会において慎重審議のうえ承認させていただいております。

令和2年度 事業報告

1. 本部役員会および役員会の開催

- 4月25日(土) 役員会
・新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和2年度総会開催の中止を決定し、総会提出議案について審議し承認した。
5月28日(木) 第1回 本部役員会
・令和3年度総会の開催について協議し、コロナ禍であることを踏まえつつも、昨年度からの計画通り会場をホテル日航奈良に移し開催することを確認し、このことを第1回役員会に報告することとした。
6月13日(土) 第1回 役員会
・役員改選にともない卒業後50年を迎えるS48卒およびS49卒の学年幹事をそれぞれ新たに本会幹事に任命することとした。
・新型コロナウイルス感染拡大に配慮し役員懇親会を中止することとした。
6月29日(月)～7月27日(月)
・各週月曜日に冠山会事務局を開局し、冠山会だより発行に伴う住所変更の連絡や各種問合せ等に対応した。
9月12日(土) 令和3年度総会の打ち合わせ
・本部役員と卒業50年招待担当幹事(S47卒、S48卒、S49卒)との意見交換を行い、今後の総会運営の基本的な考え方について整理した。
10月17日(土) 第2回 本部役員会
・令和3年度総会開催に係る担当幹事との打ち合わせ内容を報告した。
・会員名簿発行事業の事業内容と決算を報告し、収益を特別会計として管理する方向を確認した。
12月12日(土) 第2回 役員会
・令和3年度総会の準備及び運営について、担当学年との役割分担など基本的な考え方を承認した。
・会員名簿発行事業の完了報告と決算報告を行い、収益金について特別会計として管理することを承認した。

- 令和3年
2月20日(土) 第3回 本部役員会
・令和3年度総会について、新型コロナウイルス感染拡大が収まらない現状のなかでの開催の是非について意見交換した。
3月20日(土) 第3回 役員会
・令和3年度総会について、新型コロナウイルス感染拡大の現状を踏まえて、開催の是非について協議し慎重審議の結果中止することを決定した。
・第4回役員会において総会に代わって議案を審議することとした。
4月24日(土) 第4回 役員会
・令和3年度総会の提出議案について審議し承認した。
2. 令和2年度総会の開催
・5月10日(日)開催の計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止した。
3. 冠山会歴史愛好会
・新型コロナウイルス感染拡大にともない全ての年間行事の開催を自粛した。
4. 冠山会だより(会報)の発行
・6月22日 第40号を発行し会員へ発送した。
5. 清掃ボランティア活動
・11月28日(土) 9時～12時 冠山会及び学校から21名が参加し、冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動を実施した。
6. 情報交換会
・10月に本部役員と校長先生との情報交換を予定していたが中止した。
7. 冠山会入会式並びに卒業式
・2月26日(金) 卒業記念品贈呈式ならびに冠山会入会式が開催され幹事長が出席した。
・3月1日(月) 郡山高校卒業証書授与式が挙行され会長が参列した。昭和46年卒業の学年が卒業後50年を記念して卒業式に招待された。

◆ 令和2年度 収支決算書

奈良県立郡山高高等学校冠山会
自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Continuation of the financial statement.

収入決算額 6,858,998円
支出決算額 5,524,393円
差引残額 1,334,605円 (令和3年度へ繰越)

◆ 特別会計収支報告(冠山会会報発行事業)

Table with 2 columns: 収入内訳, 金額. Includes 郵便振込金分, コンビニ振込金分, 現金での入金分, 合計.

◆ 特別会計収支報告(会員名簿発行事業)

Table with 3 columns: 内訳, 金額, 備考. Includes 原稿・資料準備料, 賛助金還元金, 賛助金1口超過還元, 後期の販売・賛助金に伴う収入, 合計.

※1,344,300円は特別会計に繰入れます

◆ 令和2年度 冠山会館維持積立金収支報告書

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 前年度未累計, 本年度積立金, 利息, 合計, 本年度支出金, 次年度繰越金, 摘要.

◆ 令和2年度 周年記念準備積立金収支報告書

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 前年度未累計, 本年度積立金, 利息, 合計, 本年度支出金, 次年度繰越金, 摘要.

◆ 令和2年度 事業準備積立金収支報告書

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 前年度未累計, 本年度積立金, 利息, 合計, 本年度支出金, 次年度繰越金, 摘要.

◆ 令和2年度 冠山会名簿作成に係る収益収支報告書

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 前年度未累計, 本年度積立金, 利息, 合計, 本年度支出金, 次年度繰越金, 摘要.

◆ 財産目録

(単位:円)

Table with 3 columns: 科目, 金額, 摘要. Includes 普通預金, 定期預金, 定期預金.

令和3年3月31日現在

監査報告

本日、上記の決算書について会計監査を執行しました結果、預金、帳簿、及び関係書類は符合し、正確に処理されていたことを認めます。令和3年4月19日

会計監事 西本 功

※289,352円は一般会計へ繰入れます

令和3年度 事業計画

1. 本部役員会および役員会の開催

- 4月24日(土) 役員会
 - ・コロナウイルス感染拡大に伴い令和3年度総会への提出議案を審議。
- 5月29日(土) 第1回 本部役員会
- 6月12日(土) 第1回 役員会
- 6月28日(月)～7月26日(月)
 - ・各週月曜日に冠山会事務局を開局し、会員からの問合せ等に対応。
- 11月20日(土) 第2回 本部役員会
- 12月11日(土) 第2回 役員会
- 令和4年
 - 2月19日(土) 第3回 本部役員会
 - 3月19日(土) 第3回 役員会
 - 4月23日(土) 第4回 役員会
 - ・令和4年度総会に提出する議案について審議。

2. 令和3年度総会

- ・コロナウイルス感染拡大のため開催を中止。

3. 冠山会歴史愛好会

- ・未定

4. 冠山会だより(会報)の発行

- ・6月下旬 第41号を発行し会員へ発送する。

5. 清掃ボランティア活動

- ・12月4日(土) 冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動を実施。

6. 情報交換会

- ・10月中旬に本部役員と校長先生との情報交換会を予定。

7. 冠山会入会式並びに卒業式

- 2月28日(月)
 - 卒業記念品贈呈式ならびに冠山会入会式
- 3月1日(火)
 - 郡山高校卒業証書授与式
 - 昭和47年卒業の学年が卒業後50年を記念して招待される。

◆ 令和3年度 冠山会予算書

奈良県立郡山高等学校冠山会
自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日

収入予算額 7,350,000円
支出予算額 7,350,000円
差引過不足額 0円

収入の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘要
前期繰越金	1,334,605	980,141	354,464	前年度からの繰越金
入会金	1,775,000	1,780,000	-5,000	卒業生 5,000円×355人=1,775,000円
活動協力金	3,900,000	4,500,000	-600,000	会報発行協力金
総会参加費	150,000	150,000	0	総会参加費
寄付金	150,000	300,000	-150,000	
雑収入	40,395	89,859	-49,464	広告収入等
合計	7,350,000	7,800,000	-450,000	

支出の部

(単位:円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘要
会議費	30,000	30,000	0	役員会、年次幹事会、活性化部会開催経費
総会費	1,000,000	1,000,000	0	総会、懇親会開催経費、講師謝礼等
卒50周年招待費	300,000	250,000	50,000	卒50周年(昭和47年卒)招待経費
卒業記念品費	400,000	350,000	50,000	卒業記念品贈呈費用
生徒活動支援費	300,000	350,000	-50,000	全国大会等出場生徒への祝金、支援金
教育事業支援金	100,000	100,000	0	リーダー育成海外研修事業への支援
植木剪定等事業費	100,000	100,000	0	植木剪定ボランティア運営費等
委託費	3,600,000	3,800,000	-200,000	会報発行委託料
事務費	300,000	300,000	0	事務用品、運送料、通信費等
報酬	320,000	320,000	0	事務補助報酬(月額20,000円×16ヶ月分)
慶弔費	200,000	200,000	0	教職員への祝金、香料等
諸費	100,000	100,000	0	会長、副会長祝賀会等参加費
維持費等積立金	500,000	800,000	-300,000	冠山会館維持、周年記念準備積立金、事業積立
予備費	100,000	100,000	0	
合計	7,350,000	7,800,000	-450,000	

● 郡山高校 ● インターネットでホームページを開設

奈良県立郡山高等学校の公式サイトです。 <http://www.e-net.nara.jp/hs/koriyama>

同窓会をされた
幹事さんへのお願い



名簿の異動、会報への寄稿や写真提供がありましたら
冠山会事務局 (0743-55-0556)
までFAXにてお知らせ頂ければ有難く思います。

編集後記

令和2年度

冠山会寄附金

下記の皆様よりご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

昭和26年度卒業生前田忠禮氏より	30,000円
昭和41年度卒業生同窓生より	21,116円
昭和63年度卒業3年7組クラス会より	13,589円
卒業50周年(昭和46年卒業生)より	180,000円
合計	244,705円

日本で新型コロナウイルス感染症が
確認されてから1年以上たちました。
1年前の今ごろは、「コロナがこわい」
「家の外に出るのがこわい」「マスク」「ア
ルコール消毒」「密を避ける」等々緊張
感で自粛生活を送っていました。ここ
ろが、自粛が解除された途端、緊張感が
薄れ、再び「第4波」とよばれる危機的状
況になりました。感染者、死亡者の増加、
医療関係者の疲弊、生活、経済、環境の悪
化に陥り、未だ改善の兆しが見られませ
ん。願いは「ワクチン接種」が迅速に行わ
れ、感染者の数が急速に減って、「コナ
ナ」が収束に向かっています。
しかし、この「コロナ禍」の中にあっても、
自然の営みは淡々と続いています。自粛
の中でも桜の季節には郡山城址の桜は
いつもの年と同様に美しく咲き誇りま
した。
早く日本の四季を心豊かに感じられ
る時がくることを祈ります。
(S48 阪本)